



# F-REIの最近の動き (令和8年4月～)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

# 令和8年4月以降の出来事

4月1日 分野長・副分野長が就任	3
4月1日 岩手大学と連携協力に関する協定書を締結	4
4月4日 エフともカフェ（浪江町）を開催	5
4月15日 小林文部科学副大臣が来訪	6
4月15日 全国知事会東日本大震災復興協力本部長（大野埼玉県知事）が来訪	7
4月21日～22日 国際アドバイザー（リンドクヴィスト博士）との意見交換を実施	8
4月28日 第4回広域連携ワーキンググループを開催	9
4月28日 福島産業人クラブの経済講演会で山崎理事長が講演	10
4月30日 出前授業（会津学鳳高校）を開催	11

# 令和8年4月1日（水） 分野長・副分野長が就任

4月1日、放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野において、分野長1名および副分野長1名、農林水産業分野において副分野長2名が就任しました。これにより、分野長5名、副分野長11名の構成となります。

放射線科学・創薬医療、 放射線の産業利用分野		【分野長】茅野 政道（ちの まさみち） 福島国際研究教育機構 前副分野長 （放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野）
		【副分野長】伊藤 久義（いとう ひさよし） 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 前理事
農林水産業分野		【副分野長】中谷 誠（なかたに まこと） 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 前副理事長
		【副分野長】中山 一郎（なかやま いちろう） 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 前理事長

# 令和8年4月1日（水） 岩手大学と連携協力に関する協定を締結

4月1日、岩手大学とF-REIは、岩手大学大学院連合農学研究科の教育研究の一層の充実と大学院生の資質の向上を図るとともに、相互の研究交流の促進をもって、農林水産分野における学術及び科学技術の発展に寄与することを目的に、連携協力に関する協定書を締結しました。

## ＜主な連携事項＞

- ・連合農学研究科全専攻における教育・研究の連携
- ・客員教員制度による研究科指導体制の強化
- ・学生の研究活動支援

# 令和8年4月4日（土） エフともカフェ（浪江町）を開催

4月4日、浪江町の「ノーマの谷」で開催されたイベントと共同で、エフともカフェを開催しました。

当日は、ノーマ・ホースヴィレッジの施設を見学した後、F-REIおよびエフともを取組を紹介しました。また、「ノーマの谷」共同代表の相馬行胤（みちたね）さんと高橋大就（だいじゅ）さんには「人と馬と自然が共生する」というコンセプトや、コミュニティの再生についてお話しいただきました。

後半のディスカッションでは、馬を通じた地域づくりや地域の起業家に対するF-REIからの支援の重要性などについて、活発な議論が交わされました。

今後も、エフともが地域の皆さまをつなぐ場となれるよう、さまざまな団体との交流を深めてまいります。



# 令和8年4月15日（水） 小林文部科学副大臣が来訪

4月15日に、文部科学省の小林茂樹副大臣が来訪されました。

山崎理事長から、F-REIの現状や取組について説明を行い、意見交換を実施したほか、本施設予定地をご視察いただきました。その後、福島ロボットテストフィールドもご覧いただきました。

今後も文部科学省とも連携しながら、F-REIの取組を着実に進めてまいります。



# 令和8年4月15日（水）全国知事会東日本大震災復興協力本部長（大野埼玉県知事）が来訪

4月15日、全国知事会東日本大震災復興協力本部長である大野埼玉県知事が来訪されました。

山崎理事長から、F-REIの現状や取組について説明を行い、意見交換を実施したほか、本施設予定地をご視察いただきました。その後、福島ロボットテストフィールドもご覧いただきました。

大野知事からは、「全国の知事にもお知らせしたい」とのコメントをいただきました。

F-REIでは、今後も福島で得られる知見を活かし、実証・実装につながる研究に一層取り組んでまいります。



# 令和8年4月21日（火）～22日（水） 国際アドバイザー（リンドクヴィスト博士）との意見交換を実施

4月21日～22日、国際アドバイザーのスヴァンテ・リンドクヴィスト博士がF-REIを訪問し、役員等と意見交換を行うとともに、浜通り地域等の視察を行いました。

F-REI側からリンドクヴィスト博士に対し、直近のF-REIの活動状況や施設の整備、研究開発に関する活動等を説明したほか、博士からは、F-REIを国際的な研究拠点にするための方途等について助言をいただくなど、活発な意見交換が行われました。

また、リンドクヴィスト博士に地域の現状の理解をより深めていただくため、東京電力廃炉資料館、福島ロボットテストフィールド、東日本大震災・原子力災害伝承館の視察を行いました。

F-REIは引き続き国際アドバイザーから適切な助言を得つつ、国際化に向けた取組を進めてまいります。



# 令和8年4月28日（火） 第4回広域連携ワーキンググループを開催

4月28日、第4回広域連携ワーキンググループ（WG）を川内村で開催しました。

今回のWGでは、F-REI及び復興庁からF-REIの事業の進捗状況について報告した後、F-REI、福島県及び福島イノベーション・コースト構想推進機構から広域連携に関する令和7年度の実績の報告・令和8年度事業の説明を行いました。

その後、「地域に根差したF-REI」となるための連携について」をテーマとし、ワークショップ形式で意見交換を行いました。意見交換では、福島浜通り等の地域にF-REIがどう溶け込んでいくか、参加者の皆さまと和やかに、かつ真剣に議論が交わされ、多くの気付きを得ることができました。

本WGの議論を通じ、福島県浜通り地域を中心とする関係市町村等との連携の取組を進めてまいります。

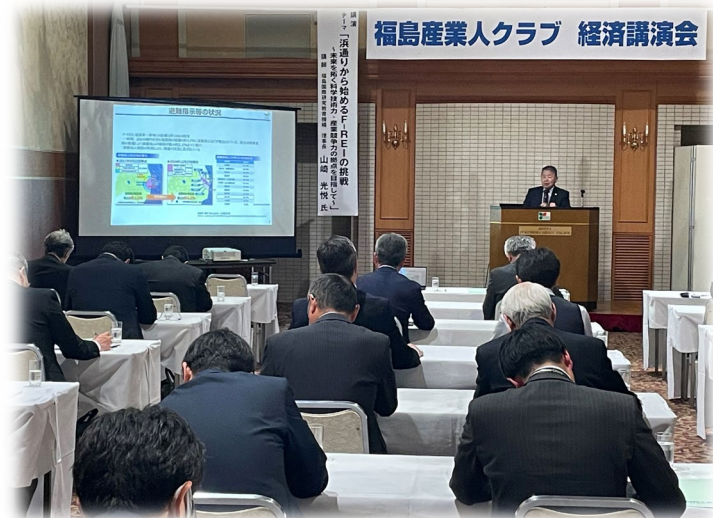


# 令和8年4月28日（火） 福島産業人クラブの経済講演会で山崎理事長が講演

4月28日、福島産業人クラブおよび日刊工業新聞社の主催で、経済講演会が福島市において開催され、山崎理事長が講演を行いました。

講演では、「浜通りから始めるF-REIの挑戦」と題し、浜通りを中心に福島・東北の創造的復興をどのように成し遂げるか、その課題や展望について説明しました。

参加された福島の産業界を支える企業の皆さまにとって、F-REIの取組や今後の展望への理解を深めるとともに、浜通りから広がる未来の可能性を感じていただく機会となりました。



# 令和8年4月30日（木） 出前授業（会津学鳳高校）を開催

4月30日、会津学鳳高校の全校生徒および会津学鳳中学校の3年生、合計約680名を対象として、出前授業を開催しました。

エネルギー分野の錦谷副分野長が講師を務め、「エネルギーとともに歩んで～石油の街からポケモンの街へ～」の演題のもと、授業を行いました。授業では、エネルギー問題の重要性を説いた上で、広い視点からのエネルギー・デバイスの研究開発状況、およびF-REIにおける研究開発について紹介をしました。

授業終了後には、限られた時間の中でも、受講した学生から複数の質問が出るなど活発な質疑応答の場面も見られ、エネルギー問題の課題や現在の研究状況、そしてF-REIについて知る機会となった様子でした。





**F-REI**

福島国際研究教育機構